

社団法人組込みシステム技術協会
平成17年度事業報告書

自 平成17年4月 1日
至 平成18年3月31日

【 目 次 】

I.	法人の概況	・・・・・・・・・・・・・・・・
II.	総括	・・・・・・・・・・・・・・・・
III.	会務の概況	・・・・・・・・・・・・・・・・
IV.	本部活動	・・・・・・・・・・・・・・・・
V.	支部事業報告	・・・・・・・・・・・・・・・・

I 法人の概況

I 法人の概況

1. 設立年月日

昭和61年8月7日

2. 定款に定める目的

本会は、システムハウス（マイクロエレクトロニクスの技術を応用した製品とこれを用いたシステムの開発、製造及び販売の事業をいう。以下同じ。）におけるマイクロエレクトロニクス応用技術に関する標準化の推進、権利の保護、調査研究等を行うことにより、システムハウスの技術の向上と利用者の利便性を高め、もってわが国産業の健全な発展及び国民生活の向上に寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

- ① システムハウスにおけるマイクロエレクトロニクス応用技術に関する標準化の推進
- ② システムハウスにおけるマイクロエレクトロニクス応用技術に係る権利保護に関する調査研究
- ③ システムハウスに関する調査研究
- ④ システムハウスにおけるマイクロエレクトロニクス応用技術に関する研修会、研究会等の開催
- ⑤ システムハウスに関する内外関係機関との連絡協調
- ⑥ システムハウスのマイクロエレクトロニクス応用技術に関する普及啓発
- ⑦ 前各号に掲げるもののほか、本会の目的を達成するために必要な事業

4. 所管官庁

経済産業省 商務情報政策局 情報処理振興課

5. 会員の状況

(平成18年3月31日現在)

種類	当期末	前期末	前期末比増減
正会員	130社	117社	+ 13社
賛助会員	28社	27社	+ 1社
合計	158社	144社	+ 14社

6. 主たる事務所・支部の状況

(主たる事務所) 東京都中央区日本橋浜町1-8-12

東実年金会館8階

(支 部)

北海道支部 札幌市北区北7条4丁目5-1

伊藤ビル7階

東京支部 東京都中央区日本橋浜町1-8-12

東実年金会館8階

中部支部 名古屋市西区新道2-15-1

東海ソフト(株)内

北陸支部 福井市川合鷺塚町61字北稻田10

(社)福井県情報システム工業会内

近畿支部 大阪市西区鞠本町1-8-4

(財)大阪科学技術センター内

九州支部 福岡市博多区博多駅東2-13-24

(財)九州産業技術センター内

7. 役員等に関する事項

別紙のとおり

8. 職員に関する事項

(平成18年3月31日現在)

職 員 数		前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
男 子	2名	0	45歳 8ヶ月	12年11ヶ月
女 子	—	—	—	—
合計又は平均	2名	0	45歳 8ヶ月	12年11ヶ月

9. 許認可に関する事項

特になし

(別紙)

社団法人日本システムハウス協会 役員・顧問 (平成17~18年度)

(役職) (支部) (氏 名) (常勤・非常勤) (担当職務・現職)

会長	中部	松尾 隆徳	非常勤	東洋電機(株)
副会長	東京	長谷川恵三	非常勤	(株)セントラル情報センター
副会長	東京	崎詰 素之	非常勤	(株)コア
副会長	東京	吉田 光保	非常勤	(株)吉河電機
副会長	中部	水谷多嘉士	非常勤	東海ソフト(株)
副会長	近畿	村島 一彌	非常勤	ウェスコム(株)

専務理事	(員外)	佐々木竹男	常勤	(社)日本システムハウス協会
常任理事	北海道	浜出 雄一	非常勤	北海道支部長／(株)東和電機製作所
常任理事	東京	塚田 英貴	非常勤	東京支部長／(株)エヌデーデー
常任理事	東京	澤田 勉	非常勤	イーソル(株)
常任理事	中部	萩原 義昭	非常勤	萩原電気(株)
常任理事	中部	坂井 裕	非常勤	中部支部長／(株)ユタカ電子
常任理事	北陸	進藤 哲次	非常勤	北陸支部長／(株)ネスティ
常任理事	近畿	杉山 久志	非常勤	近畿支部長／(株)暁電機製作所
常任理事	近畿	細江 美則	非常勤	大洋工業(株)
常任理事	近畿	杉本 浩	非常勤	スキル・インフォメーションズ(株)
常任理事	近畿	廣末 公秀	非常勤	住友電工ハイテックス(株)
常任理事	九州	松尾 正博	非常勤	九州支部長／マイクロコート(株)
常任理事	九州	石井 四郎	非常勤	(株)デンケン
理事	東京	鈴木 茂昭	非常勤	アストロデザイン(株)
理事	東京	浅野 悅司	非常勤	(株)ジー・シー・イー
理事	東京	篠原 道広	非常勤	(株)ソフィアシステムズ
理事	東京	馬場 民準	非常勤	ガイオ・テクノロジー(株)
理事	東京	日比野吉弘	非常勤	東信システムハウス(株)
理事	東京	宇賀神 孝	非常勤	アンドール システム サポート(株)
理事	東京	藤木 優	非常勤	(株)ブライセン
理事	東京	安田 耕平	非常勤	(株)キャンパスクリエイト
理事	東京	小林 龍雄	非常勤	横河デジタルコンピュータ(株)
理事	東京	月原 優	非常勤	(株)東電ユーワエスト
理事	中部	香川 利光	非常勤	三幸電子(株)
理事	近畿	和倉 慎治	非常勤	(株)アサヒ電子研究所
理事	近畿	木村 吉男	非常勤	(株)京都テクニカ
理事	(員外)	門田 浩	非常勤	日本電気(株)
理事	(員外)	井上 混	非常勤	東京都立産業技術研究所
理事	(員外)	飯塚 悅功	非常勤	東京大学
理事	(員外)	大原 茂之	非常勤	東海大学
理事	(員外)	高橋 重眞	常勤	(社)日本システムハウス協会
監事	(員外)	宇田川重雄	非常勤	宇田川公認会計士事務所
監事	東京	間宮 裕	非常勤	(株)東京アールアンドデー
監事	近畿	小幡 忠信	非常勤	アルカディアシステムズ(株)
顧問		種村 良平	非常勤	(株)コア

理事：37人 (内訳：会長1人、副会長5人、専務理事1人、常任理事12人、理事18人)

監事： 3人

顧問： 1人

II. 総括

好況感が充満する今年度であった。カーナビ、携帯電話、デジタル家電など好調業種を背景にして組み込み技術の真価とその課題が顕在化した年であった。ソフトウェア技術の高度化と信頼性、人材の不足と育成などの確な施策が望まれた。当会においてもこれ等の対策に対応すべく組込み技術を核としたJASA改革がスタートし、新たな施策が具体的な事業として推進されることとなった。

事業面においては、JASA改革元年を標榜し、臨時総会を経て名称変更手続きなど順調に推移した。中心的事業のET2005（組込み総合技術展）が過去最大の規模、業績を示し、飛躍の足場を固めたことは特質である。

一昨年末に発刊した「エンベデッド技術」（JASA組込み技術者育成委員会編・電波新聞社発刊）は、1万部の大台を超えて出版記念会が開催されるほどであった、組込み技術の普及啓発、組込み技術者育成に大きな力となったほか、第2弾「エンベデッド技術／ソフトウェア編」が単行本化され今後の教材作りに弾みがついたと言える。

このほか、組込み技術者研修、組込みソフトウェアフォーラムの地方展開など概ね事業が進行し、会員拡張もJASA改革最大の目標に向けて上昇気流に乗った感があるが、次年度に期待を残す結果となっている。また、組込み技術者試験やETWestなどの新規事業立ち上げへの準備作業も進展し、新年度に大きな成果が待たれる状況となった。

平成17年度年度重点事業は以下のとおりであった。

1. JASA改革の推進

- 協会名の変更及び定款の変更
- 2. ET2005（組込み総合技術展）の開催
- 3. 教育事業の推進
- 4. セミナー事業の拡充
- 5. 支部活性化推進事業
- 6. 広報体制の強化
- 7. 関連機関・団体との連携強化

上記事業を的確に遂行し、マイクロエレクトロニクス応用技術の開発を促進し、情報産業の発展に寄与するため、日本自転車振興会自転車等機械工業振興補助事業「平成17年度地域情報化の現状調査研究」を実施し、成果を報告書としてまとめるほか機関誌「Bulletin JASA」掲載し周知を図った。

日本自転車振興会補助事業

平成17年度も自転車等機械工業振興補助事業を会員各位のご支援を得て実施いたしました。

■ アジア経済圏におけるエンベデッドシステムに関する調査研究

インドのIT産業の実態把握、ビジネスチャンス、ベトナム、ラオスを中心とした関連諸国を訪問、報告書としてまとめた。

■ 組込み技術者育成及び技術の高度化と環境整備に関する調査研究

① 組込み初級技術者の研修

- | | | | |
|-----------|-----|---------|-----------------|
| ・函館 参加者延べ | 65名 | 座学による研修 | はこだて未来大学 |
| ・福岡 参加者 | 21名 | 実機教材研修 | 福岡 LSI 総合開発センター |
| ・東京 参加者 | 21名 | 実機教材研修 | 東実年金会館 |

② 組込みソフトウェアフォーラム

- | | | |
|---------|------|-----------------|
| ・大阪 参加者 | 120名 | 大阪科学技術センター |
| ・福岡 参加者 | 125名 | 福岡 LSI 総合開発センター |

③ ETセミナー

④ 教材開発 入門者向けテキスト作成 調査研究報告書としてまとめる。

■ 組込み技術普及啓発のための産学官連携

ET2005におけるユニバーシティパビリオンの運営。参加、大学、研究機関、高校

(参加校17校)

- 大阪大学 集積システム設計学講座 今井研究室
九州大学 福田・中西研究室
慶應義塾大学 山崎研究室
首都大学システムデザイン学部情報通信システム工学コース 村越研究室
電気通信大学共同研究センター
東海大学清水尚彦研究室
東海大学電子情報学部情報メディア学科 大原茂之研究室
東京農工大学 中條研究室／慶應義塾大学天野研究室
東京農工大学 並木研究室
豊田工業高等専門学校 情報工学科
名古屋大学大学院情報科学研究科 高田・富山研究室
日本大学理学部電子情報工学科 中村研究室
北陸先端科学技術大学院大学
武藏工業大学コンピュータ・メディア工学科 自動制御研究室
武藏工業大学信号処理研究室
武藏工業大学電力情報研究室
早稲田大学中島研究室

III. 会務の概況

1. 総会

①通常総会（第19回）

平成16年6月9日（木） ロイヤルパークホテル

以下に示す議案が諮られ、承認可決された。

- 1) 第1号議案 平成16年度事業報告書案承認の件
- 2) 第2号議案 平成16年度計算書類案承認の件
- 3) 第3号議案 平成17年度事業計画書案の承認の件
- 4) 第4号議案 平成17年度収支予算案承認の件
- 5) 第5号議案 定款変更承認の件
- 6) 第6号議案 理事及び監事選任の件
- 7) 第7号議案 員外役員選任の件

この中で日本小型自動車振興会の「平成17年度自転車等機械工業振興補助事業」を実施することが承認された。

②臨時総会

平成17年11月8日 東実年金会館

以下に示す議案が諮られ、承認可決された。

- 1) 第1号議案 名称変更及び名称変更に伴う定款の一部変更等承認の件

2. 理事会

平成17年5月19日から平成18年3月16日の間に7回の理事会を開催。

1) 第122回理事会 平成16年5月19日（木） 東実年金会館

次の議題が取り上げられた。

- ①委員会活動報告 <総務、企画・調査、広報、技術、ET（旧MST）>
- ②本・支部活動報告 <九州、近畿、中部、北陸、東京、北海道>
- ③新入会員の承認
(横河ディジタルコンピュータ株式会社、株式会社アイポック、株式会社グレープシステム)
- ④平成16年度事業報告書及び収支計算書（案）について
- ⑤平成17年度事業計画書及び収支予算書（案）について
- ⑥平成17年度～18年度役員改選について
- ⑦定款の変更
- ⑧情報化月間表彰推薦について

2) 第123回理事会 平成17年6月9日（木） ロイヤルパークホテル

次の議題が取り上げられた。

- ① 平成15年度事業報告書及び収支計算書（案）について
- ② 平成16年度事業計画書及び収支予算書（案）について
- ③ 定款の変更について
- ④ 役員選任について
- ⑤ 員外役員選任について
- ⑥ 顧問の委嘱について
- ⑦ 新入会員の承認
 - ・アティアクセス株式会社
 - ・株式会社シーケル・コーポレーション
- ⑧ 情報化月間表彰について

3) 第124回理事会 平成17年9月15日（木）ザ・サイプレス

次の議題が取り上げられた。

- ① 事業本部活動報告 <運営・企画・事業>
- ② 本・支部活動報告 <九州、近畿、中部、北陸、東京、北海道>
- ③ 新入会員の承認
 - ・株式会社日新システムズ
 - ・株式会社アックス
 - ・アドバンスデザインテクノジー株式会社
 - ・株式会社豊通エレクトロニクス
 - ・東京エレクトロンデバイス株式会社
 - ・トーテックアメニティ株式会社
 - ・松下電器産業株式会社
- ④ 役員の異動について
- ⑤ 平成18年度機械工業振興補助事業の申請について
- ⑥ 情報化月間表彰について
- ⑦ 「ものづくり」新法について
- ⑧ 平成17年度本部関係収支状況について

4) 第125回理事会 平成17年11月8日（水）東実年金会館

次の議題が取り上げられた。

- ① 新入会員承認
 - ・株式会社システムクリエイティブ
 - ・株式会社児島電機株式会社
- ② 名称変更及び名称変更に伴う定款の一部変更等承認の件

5) 第126回理事会 平成17年11月15日（木）パシフィコ横浜

次の議題が取り上げられた。

- ① 事業本部活動報告 <運営・企画・事業>
- ② 本・支部活動報告 <九州、近畿、中部、北陸、東京、北海道>
- ③ 新入会員承認について
 - ・株式会社ソフトシリウス

2. 会員の変動状況

本年度期首会員数は、正会員117社、賛助会員27社の合計144社であった。期中において、正会員21社、賛助会員2社の増加があったが、正会員8社、賛助会員1社の減少があったため、本年度期末会員数は、正会員130社、賛助会員28社の合計158社となった。

新入会員（正会員）

- ・ 株式会社アイポック、
- ・ 横河ディジタルコンピュータ株式会社、
- ・ 株式会社グレープシステム)
- ・ アイティアクセス株式会社
- ・ 株式会社シー・シェルコー・ボーレーション
- ・ 株式会社日新システムズ
- ・ 株式会社アックス
- ・ 株式会社豊通エレクトロニクス
- ・ アドバンスデザインテクノジー株式会社
- ・ トーテックアメニティ株式会社
- ・ 株式会社システムクリエイティブ
- ・ 児島電機株式会社
- ・ 株式会社ソフトシリウス
- ・ 株式会社システムクラフト
- ・ 株式会社クルー
- ・ 株式会社ソフト流通センター（関西営業所）
- ・ 株式会社来夢多
- ・ 株式会社ジェーエフピー
- ・ SKY 株式会社
- ・ NDS インフォス

（賛助会員）

- ・ 東京エレクトロンデバイス株式会社
- ・ 松下電器産業株式会社

（支部会員）

- ・ 株式会社ソフト流通センター

IV. 本部活動報告

<運営本部>

1. 協会名変更に伴う内外広報活動等

①記者懇談会の実施 20社

平成18年3月31日東京・中央区 ロイヤルパークホテル

- 名称変更至る経緯、目指すところ
- 協会の活動状況
- 組込み技術者試験制度について
- ET2006,ETWestについて

②マスコミ等への協会名変更告知の徹底

③設立20周年を兼ね新会員証の発行

④機関誌 Bulletin JASA にて名称変更特集号発行

⑤会員間の変更徹底及び変更に伴う事務作業推進

2. 機関誌 Bulletin JASA No.14、No.15、No.16、No.17、No.18 5回発行

3. 会員増強活動を主宰、弾みをつけた。

<企画本部>

1. 11回の企画委員会を開催し、事業全般に亘って事業推進を図った。試験制度、IPAとの連携、補助事業の推進に注力した。(補助事業前述)

2. ETセミナー、研修事業に注力し成果を収めた。(補助事業前述)

3. 組込み技術者試験について検討し、実現に向けて推進した。

4. ホームページの改定に注力し、全面的にリニューアルを実施し、組込み情報等新規ニュース掲載に注力。後半、バナー広告掲載準備に入り、テスト広告掲載。

5. 組込み技術者入門向けテキスト開発、入門編を報告書としてまとめた。

6. IPA・SECと連携し「組込みソフトウェアフォーラム」大阪、福岡で開催し、組込み技術の普及啓発に努めた。

<事業本部>

1. ET2005(組込み総合技術展)開催及び「ETWest開催準備」

■会期(展示会) 平成17年11月16日、17日、18日

(カンファレンス) 平成17年11月15日、16日、17日、18日

■会場 パシフィコ横浜

■主催 (社)日本システムハウス協会

■後援 経済産業省、東京都、横浜市、インド大使館、

アメリカ合衆国大使館商務部、英國大使館商務部

■協賛 日本貿易振興機構、情報処理推進機構、(財)日本情報処理開発協会

(社)情報サービス産業協会、(社)電子情報技術産業協会、(社)トロン協会

(社)日本半導体ベンチャー協会、(社)情報処理学会

- 併催 ET ロボコン・チャンピオンシップ大会
- 出展対象品目
 - ハードウェア・ソリューション
 - ソフトウェア・ソリューション
 - 開発環境・ツール
 - インテグレーション/デザインサービス/関連企業
- 展示会開催規模
 - 出展者数 346 社・団体
 - 出展小間数 690 小間
 - 来場者数 24, 186 名

- カンファレンス
 - プログラム数 109 セッション
 - 参加者 10, 565 名

「ET ソフトウェアデザインロボットコンテスト 2005」
 「ET ロボコン・チャンピオンシップ大会」

- ①主 催 社団法人 日本システムハウス協会
- ②後 援 社団法人 情報処理学会
 　　社団法人 日本ロボット工業会
- ③特別協力 独立行政法人 情報処理推進機構 ソフトウェア・エンジニアリング・センター
 　　NPO法人 組込みソフトウェア管理者・技術者育成研究会
- ④協 力 NPO法人 UML モデリング推進協議会(UMTP)
 　　オブジェクト・マネジメント・グループ(OMG)
 　　ホームアイランズセキュリティ協議会
- ⑤会場協力 (株)内田洋行、(株)東陽テクニカ
- ⑥スポンサー (株)オージス総研、キヤツツ(株)、日本アイ・ビー・エム(株)
 　　NEC ソフトウェア北陸、日本テレロジック(株)、(株)ユニテル、
 　　(株)富士通ラーニングメディア
 　　情報技術開発(株)、(株)ザ・ネット
 　　株式会社エヌデーデー、株式会社豆蔵、沖通信システム株式会社
- ⑦協力メディア 翔泳社、日経 BP 社、CQ 出版、経済産業新報社
- ⑧企画/運営 ET ソフトウェアデザインロボットコンテスト実行委員会

2. 海外調査研究

ベトナム、ラオス IT 視察及びインド IT 視察を実施し成果を報告書としてまとめた。
 (補助事業前述)

V. 支部活動報告

<北海道支部>

1. 総括

今年度の経済情勢は、米国経済の活況、中国の東海岸を中心とする自由主義経済の驚異的な発展にささえられ、大手製造業を中心に回復の傾向が顕著になってきている。

しかし中小企業が多い地方経済は公共事業の削減、内需不振もあって依然低迷から脱出しきれない状況にある。

一方、社会情勢は、耐震偽造による住への不安、BSE対策における米国産牛肉の約束違反による食への不安、ファイル交換ソフトによる情報漏洩など、生活に対する大きな不安を与える事件が多い年であった。

このような状況の中、北海道支部は会員の激減により従前のような支部活動は出来なかつたが、業界発展に有効であると思われるテーマで講演会を開催したほか、市場開拓の契機となるET2006へ2社が出展するなど精力的に活動を行った。

2. 会員動向

	正会員	支部会員	賛助会員	計
17年・3月	3	1	1	5
18年・3月	3	1	0	4

3. 活動状況

3-(1) フォーラム

「組込みシステム入門セミナー」

日 時：平成18年2月10日（金） 10：00～17：00

場 所：公立はこだて未来大学 共同研究センター 会議室

主 催：(社)日本システムハウス協会北海道支部

後 援：公立はこだて未来大学共同研究センター

講 師：(株)グレープシステム 宮下 光明

参加者：60名

3-(2) 常議員会

8月1日（月） 第200回 於：(株)東和電機製作所 会議室

①平成17年度北海道支部収支状況報告

（月次収支および年度収支見込み）

②本部事務局からの報告

（協会名称変更の動き、会員ルール変更の方向、本部活動報告）

③その他

東和電機製作所事業説明、工場見学

＜東京支部＞

1. 事業概要

協会本部を中心にJASA改革が活動の中心を占め、東京支部活動もそれに即応する形で活動が展開された。JASA改革の本丸は、会員増強で同志を募ることで業界の中心的存在たることが実現するわけで、JASA改革初年度としては、可もなく不可もない結果であったといえる。ただ、協会名称の変更、それに伴う定款の変更、新組織への積極的対応など協会の格としての役割は、十分に果たしたといえよう。ET2005をはじめ諸事業も順調に推移したといえ、新生JASAに向かって明日へ礎を培った。

2. 会員の異動状況

期首支部会員数は、正会員58、賛助会員24、支部会員1社の合計83社、期中において正会員入会12社、賛助会員入会2社、支部会員1社の入会があった一方、正会員5社退会、賛助会員1社の退会があり、期末合計は、正会員65社、賛助会員25社、支部会員2社の92社となった。

(正会員)

- ・ 株式会社アイポック、
- ・ 横河ディジタルコンピュータ株式会社、
- ・ 株式会社グレープシステム)
- ・ アイティアクセス株式会社
- ・ 株式会社日新システムズ
- ・ 株式会社アックス
- ・ 株式会社豊通エレクトロニクス
- ・ アドバンスデザインテクノジー株式会社
- ・ 株式会社ソフトシリウス
- ・ 株式会社システムクラフト
- ・ 株式会社来夢多
- ・ 株式会社ジェーエフピー

(賛助会員)

- ・ 東京エレクトロンデバイス株式会社
- ・ 松下電器産業株式会社

(支部会員)

- ・ 株式会社ソフト流通センター

3. 事業実績

1. 平成17年度フレッシャーズセミナー

- ・ 日 時 4月6日(水)～4月7日(木)
- ・ 場 所 東実年金会館4階会議室
- ・ 参加者 支部会員12社68名

2. 平成 17 年度支部総会

- ・日 時 5月 12 日 (木)
- ・場 所 東実年金会館 3階会議室
- ・議 案
 - ・平成 16 年度事業報告及び収支決算書の承認
 - ・平成 17 年度事業計画及び収支予算案の承認
 - ・平成 17 年～18 年度役員の選任 (名簿末尾掲載)
 - ・その他
- ・参加者 32 名

3. 支部納涼祭

- ・日 時 8月 26 日 (金)
- ・場 所 東実年金会館 3階会議室
- ・講演会 「人材投資促進税制について」
　　経済産業省経済産業政策局 田中信雄 氏
　　「良く解る印度のソフトウェア企業」
　　(有)グローバルインフォネット 鈴木明 氏
- ・交流会 屋形船野田屋
- ・参加者 30 名

4. ボウリング大会及び若手社員交流会

<全国システムハウス業厚生年金基金共催>

- ・日 時 10月 7 日 (金)
- ・場 所 新宿ミラノボウル
- ・参加者 支部会員 9社 102 名

5. 支部例会及び忘年交流会

- ・日 時 12月 20 日 (火)
- ・場 所 東実年金会館 3階会議室
- ・講演会 「半導体業界 よもやま話」
　　(有)エムエスシー 中村正規 氏
- ・忘年交流会 参加 45 名

6. その他

協会本部主催の 17 年度自転車等機械工業振興補助事業、ET セミナー、組込み技術者研修、ET 2005 (組込み総合技術展) などに主体的に参画し大きな成果を残した。

東京支部平成17年度～18年度役員名簿

1. 鈴木 茂昭	アストロデザイン株式会社
2. 宇賀神 孝	アンドールシステムサポート株式会社
3. 崎詰 素之	株式会社コア
4. 長谷川 恵三	株式会社セントラル情報センター
5. 篠原 道広	株式会社ソフィアシステムズ
6. 日比野 吉弘	東信システムハウス株式会社
7. 塚田 英貴	◎ 株式会社エヌデーデー
8. 吉田 光保	株式会社吉河電機
9. 小林 龍雄	横河ディジタルコンピュータ株式会社
10. 間宮 裕	株式会社東京アールアンドデー
11. 澤田 勉	株式会社イーソル
12. 安田 耕平	株式会社キャンパスクリエイト
13. 浅田 悅司	株式会社ジェー・シー・イー
14. 馬場 民準	ガイオテクノロジー株式会社
15. 藤木 優	株式会社ブライセン
16. 月原 優	株式会社東電ユーフェースト
17. 鈴木 明	
18. *有限会社グローバル・インフォネット	

◎印 支部長 *印 支部専任常議員

(順番：会員番号順)

<中部>

I. 会議

1. 通常総会

- 5月13日 議題 (1) 平成16年度事業報告書(案)について
(2) 平成16年度収支決算書(案)について
(3) 平成17年度事業計画(案)について
(4) 平成17年度予算(案)について
(5) 支部役員の改選について
(6) その他

出席者 14名 内委任状3名 (於 ソフィテル ザ サイプレス)
出席者 33名(懇親会「音楽を聴く夕べ」)

2. 常議員会

- 4月20日 議題 (1) 平成16年度事業報告書(案)並びに収支決算書(案)について
(2) 平成17年度事業計画書(案)並びに収支予算書(案)について

(3) 支部役員改選(案)について

(4) 支部総会運営について

(5) ミドル会の実施について

その他

出席者 9名 (於 ; ソフィテル ザ サイプレス)

5月13日 議題 (1) 平成15年度事業報告書(案)並びに収支決算書(案)について

(2) 平成16年度事業計画書(案)並びに収支予算書(案)について

(3) 役員改選について

(4) 5月、6月、7月の行事について

(5) ミドル会について

出席者 9名 (於 ; ソフィテル ザ サイプレス)

6月28日 議題 (1) 秋の産業視察団派遣(管理職)について

(2) 次回の常議員会・定例会の会場・日程について

報告 (1) 台湾産業視察団 {6月2日(木)~5日(日)} 無事終了の件

(2) 17年度ミドル会は、6名のご参加を頂きスタートし、6月22日
(水)に第一回勉強会を開催した件

(3) SH会懇親ゴルフ 6月25日(土)無事終了の件

(4) 会員交流ボーリング大会 (年金基金補助事業) 7月27日(水)実施に
について

(5) 秋の情報化セミナー 10月28日(金) の件、7月6日に名大の高田
先生と交渉する件

(6) その他

出席者 8名 (於 : ソフィテル ザ サイプレス)

7月27日 議題 (1) 秋の産業視察団派遣について「18年2月頃に延期」とする

(2) 次回常議員会、定例会の会場、日程について

「中部大学で10月初旬~中旬で交渉する」

報告 (1) 台湾産業視察団「6月2日~6月5日」の報告書完成の報

(2) 平成17年度ミドル会は、6名の参加者を得てスタートした。

8月3日(水)に第2回勉強会 (テーマ:ミドルの役割) 実施する。

(3) 会員交流ボーリング大会は7月27日 19レーン72名の参加をえて実施無
事終了した

(4) 秋の情報化セミナー(仮称)10月28日(金)の件、7月6日に名古屋大学の高田教授の所へ水谷副支部長と出向き最終打合せを行った。
出席者 7名 (於 ; ソフィテル ザ サイプレス)

10月12日 議題 (1) システムハウス技術セミナーについて
(2) 12月実施の常議員会、定例会、忘年懇親会について
(3) その他

報告 (1) 新入会員に関する報告
その他

出席者 7名 (於 ; 中部大学 2号館 1階 PSホール)

12月08日 議題 (1) 平成18年1月～3月の常議員会、定例会について
(2) 協会名称変更を機会に中部の会員企業案内の作成の件
(3) 会員交流ボーリング大会について

報告 (1) システムハウス技術セミナー137名迎えて無事終了の報告
その他

出席者 10名 (於 ; ソフィテル ザ サイプレス)

(平成18年)

2月22日 議題 (1) 平成18年度事業計画(案)と予算(案)について
(2) 平成17年度収支計算書(予想)について
(3) 3月、4月の行事について
5月の支部総会について

報告 (1) (社)組込みシステム技術協会のマーク、ロゴが決まった。
(2) 会員企業案内の進行状況
(3) オーストラリア産業視察会が無事終了した件

会議終了後 オペレーションセンター見学させて頂いた。

出席者 : 9名 (於 ; 三幸電子(株)オペレーションセンター)

3. 定例会(会員交流会、講演会、視察会等)

4月20日 第一回定例会

講演会

テーマ : 「組込みシステム業界における(高田の)取組」
CESTを含めてTOPPERS、NEXCESS、JasParなど私の
取組の講演とディスカッション

講師 : 名古屋大学情報科学研究所 教授 高田広章

懇談会 : 食事を取りながら懇談

出席者 : 20名 (於 : ソフィテル ザ サイプレス)

6月24日 第二回定例会

講演会とビジネスパートナー探し

演題 : 「これからロボット開発並びに実演」

ハイシャノ紹介、ロボット市場の現状とロードマップ

講師 : (株)ビジネスデザイン研究所

プロジェクトマネージャー 加藤常徳氏

懇談会 : 食事を取りながら懇談する。

参加者 : 17名 (於 : ソフィテル ザ サイプレス)

10月12日 第三回定例会

中部大学研究室の見学、教授との交流

プログラム

14:00~14:15 (桐山教授司会)

支部長挨拶、中部大学キャリアセンタ課長挨拶、見学コースの説明を聞く

14:20~15:25

見学 (ロボット研究・画像研究関連の研究室見学)

15:30~16:50

産学交流の現状「研究交流、就職状況、学生気質等」を聞き関係教授との懇談
情報工学科 早原教授、

電気システム工学科 井戸教授、

電子情報工学科 脇田教授、

研究支援センター 庄山課長、他4名参加

参加者 : 26名 (於 ; 中部大学 2号館 1階 PSホール)

12月8日 第四回定例会 (ミドル会との合同忘年会)

議事等 : 支部長挨拶

: 本部関連の連絡事項

: 桐山先生より大学の現状等の話を聞く

: 新入会員の紹介

: ミドル会メンバーの紹介

忘年会 : 食事を摂りながら懇談

参加者 : 26名

(平成18年)

2月22日 第五回定例会 (会員交流ボーリング大会表彰式を兼ねて)

1) 松尾会長挨拶

2) 支部長より支部活動の話を聞く

3) 食事を楽しみながら懇談

4) 表彰式

参加者 : 73名 (於 : ブランズウィック スポルト)

II. 事業

1、技術セミナー(一般向け)

10月28日 システムハウス技術セミナー

主催者挨拶 13:00~13:10

開会挨拶 : (社)日本システムハウス協会中部支部 支部長 坂井 裕

挨拶 : (社)日本システムハウス協会中部支部 会長 松尾隆徳

第1部 13:10~14:40

テーマ : 「組込みシステムの現状と動向」

~TOPPERSプロジェクトを中心にも

講師 : 名古屋大学 大学院情報科学研究科/TOPPERSプロジェクト

教授 高田 広章 氏

第2部 14:55~16:25

テーマ : 「車載コンピュータに於けるソフトウェア信頼性技術の動向と背景」

~CMMI、MISRA、と機能安全 IEC61508 的思考の概要~

講師 : アイシン精機株式会社 電子系技術部企画開発グループ

主査 鈴村 延保 氏

出席者 : 137名 【名古屋市中小企業振興会館(吹上)】

2. 海外視察会

(1) 台湾産業視察団

6月2日(木)~5日(日) 台湾産業視察団派遣

視察先 : 台北 Computex Taipei

参加者 : 10名

(2) オーストラリア産業視察団

18年1月31日~2月7日

視察先 : オーストラリア メルボルン市

オーストラリア シドニー市

参加者 : 9名

3. ミドル会

5月13日 支部総会に於いて顔合わせを行う。参加者 5名

6月02日 ミドルアンケート調査 参加者全員提出

6月22日 ミドル会第一回勉強会

ミドル会の趣旨説明

会員各自の自己紹介

- アンケート調査の結果報告
 参加者 6名 (於 ; ソフィテル ザ サイプレス)
- 8月 03 日 ミドル会第二回勉強会
 ミドルの役割
 参加者 5名 (於 ; ソフィテル ザ サイプレス)
- 11月 10 日 ミドル会第三回勉強会
 当たり前の事を振り抜く会社が勝つ 丸山弘昭著
 を読んだ印象の発表と意見交換
 参加者 6名 (於 ; ソフィテル ザ サイプレス)
- 12月 08 日 ミドル会合同忘年懇親会
 参加者 5名 (於 ; ソフィテル ザ サイプレス)

4. 共催・協力事業等

- 10月 25 日～28日 フロンティア21エレクトロニクスショー
 (於 ; 吹上ホール)
- 10月 25 日～28日 産学交流テクノフロンティア2005
 (於 ; 吹上ホール)

5. 会員交流事業

- 6月 25 日 第64回SH会懇親ゴルフコンペ
 参加者 : 9名 (於 : 愛岐カントリークラブ)
- 7月 27 日 会員交流ボーリング大会 (年金基金補助事業)
 参加者 : 72名 (於 ; ブランズウィック スポルト)
- 9月 15 日 本部役員と厚生年金基金役員と中部支部会員の交流会
 参加者 : 49名 (内支部員 17名)
 (於 : ソフィテル ザ サイプレス)
- 9月 16 日 2005年日本国際博覧会(愛・地球博)の見学
 参加者 : 26名 (内支部員 5名)
- 9月 17 日 本部役員と厚生年金基金役員と中部支部会員の懇親ゴルフコンペ
 参加者 : 18名 (内支部員 11名)
- (平成18年)
- 2月 22 日 会員交流ボーリング大会
 参加者 : 73名 (於 : ブランズウィック スポルト)

6. 広報事業

- 11月 30 日 ホームページ会員企業紹介 リニューアル
 (平成18年)

7. 支援協力事業

名古屋商工会議所事業への協力
技術セミナーの共催、後援
名古屋市工業研究所への支援協力
技術セミナーの後援
中部ものづくり産業展2005
「フロンティア21エレクトロニクスショー」の開催協力

＜北陸支部＞

わが国は、世界最先端のIT国家を目指して「e-Japan戦略」「e-Japan戦略II」を策定し、IT基盤の整備とその利活用について推進してきた。平成18年以降も日本がIT革命を先導する世界のフロントランナーであるために新たなIT戦略として「u-Japan政策」を策定した。

このような状況のもとに北陸支部は、本部及び各委員会が実施する諸事業や行事を緊密な連携のうえ、実施していくとともに、地域の特性を考慮しながら、システムハウス業界の発展と地域産業の振興を図ることを目的に以下の事業を推進する。

1 定例会の開催と支部活動の活性化

年数回の定例会を開催し、業界動向等については、他団体等との連携による意見交換及び合同施策の実施、会員相互の交流を図り、会員間のソフト流通等の協業活動を通じて、支部活動の活性化を図る。

また、地元情報産業団体と提携し、産学官連携推進を図る。

2 会員企業の研修、スキルアップ及び交流活動

セミナー、研修旅行を実施し、特にエンベデッドテクノロジーに関する勉強会、講習会を他情報産業団体と共に実施し、会員技術者のスキル・技術力の向上を図るとともに、支部独自のコンペ等を企画し、会員間の交流を進める。

3 展示会への出展

地域開催の展示会等に積極的に出展する。(北陸交流技術テクノフェア、ふくいITフォーラムなど)

4 広報活動

官公庁・業界団体への広報活動を強力に推進するとともに、報道機関等のマスメディアへのPR活動を行なう。

＜近畿支部＞

＜総括＞

組込みシステム技術の急速な発展と要求に対応し得るさまざまな活動に取り組んで参りました。

活動の基盤となっています各委員会の、総務交流フォーラム・市場開発交流フォーラムに於きましては、活発な活動を展開し当初の成果をあげる事が出来ましたが、技術交流フォーラムに於きましては、十分な活動が出来ず、残念な結果に終わりました。

技術セミナーとして「組込みソフトウェアフォーラム in 大阪」を開催し、会員以外からも多数の参加を得、盛況に終える事が出来ました。

組込み技術の関心の高さが益々強まる中、関西圏での組込み総合技術展 「E T W E S T」を開催するに当り、実行委員会を設置しました。

会員皆様のご協力により着々と準備が進み、開催の目途が付きました。次年度より、支部活動の大きな事業となり、会員並びに地域業界の発展に寄与して行くものと期待しております。

又、新入会員の方も増え、事業の活性化に大いに役立てる結果となりましたのも会員皆様のご協力・成果の賜物で有ります。

＜支部活動＞

1. 近畿支部総会 通常総会開催

平成17年5月25日（水）於：大阪産業創造館

- ・平成16年度事業報告及び収支決算報告
- ・平成17年度事業計画及び収支予算報告
- ・役員改選

2. 常議員会 10回開催

支部事業計画に基づいた具体案の検討他、各種審議を行った。

- ①平成17年 4月27日（水）於：大阪産業創造館
- ②平成17年 6月22日（水）於：大阪産業創造館
- ③平成17年 7月27日（水）於：三菱電機(株)京都製作所
- ④平成17年 9月28日（水）於：大阪産業創造館
- ⑤平成17年10月26日（水）於：大阪産業創造館
- ⑥平成17年11月22日（水）於：大阪産業創造館
- ⑦平成17年12月 7日（水）於：治兵衛・難波店
- ⑧平成18年 1月25日（水）於：大阪産業創造館
- ⑨平成18年 2月22日（水）於：大阪産業創造館
- ⑩平成18年 3月22日（水）於：大阪産業創造館

3. 事業委員会

- ・総務・企画委員会（業界経営基盤の強化、推進支援を図る）
- ・技術・業務委員会（情報処理技術の高度化対応を図る）
- ・広報・マーケット委員会（市場の開発と知名度向上を図る）

各委員会は委員長を中心として、年間事業計画に基づき担当事業の計画を具体化、常議員会で検討、承認後実行を行った。（活動詳細別途）

4. 本部との連携による活動推進

本部活動への参加、協力、支援を行った。本部事業の運営に協力、連携を推進した。

5. 行政や他団体との連携・協調推進

これまで培った他団体及び関連先との交流・連携を継続的に行い、会員企業に有益な情報提供に務めた。

- ・近畿経済産業局
- ・近畿情報システム産業協議会（KISA）
- ・関西電子情報産業協同組合（KEIS）
- ・大阪科学技術センター（OSTEC）
- ・（財）大阪市都市型産業振興センター（大阪産業創造館）

＜委員会事業活動＞

1. 総務・企画委員会

（1）総務交流フォーラム（総務諸問題研究部会）

講演会及び懇親会を3回開催。各社管理部門担当者の人材育成、ネットワークの構築に取り組んだ。

①平成17年6月15日（水）於：大阪科学技術センター

講演 櫻関西就職問題研究所 代表取締役 本庄賢行氏

テーマ「企業内における情報管理」－「個人情報保護法」とは
どんなものか？』－

②平成17年9月15日（木）於：大阪科学技術センター

講演 協和総合法律事務所 弁護士 原戸稻男氏

テーマ「非公開会社の為の改正会社法」

③平成18年2月24日（金）於：大阪科学技術センター

講演 協和総合法律事務所 弁護士 原戸稻男氏

テーマ「最近の人事・労務をめぐる諸問題」

（2）新春IT振興フォーラム及び賀詞交歓会

①平成18年1月16日（月）於：大阪科学技術センター

・新春IT振興フォーラム（パネルディスカッション）

テーマ「進展する五感産業とIT産業の接点を探る」

コーディネーター 東京大学先端科学技術センター 教授 廣瀬通孝氏
パネリスト 松下電器産業(株)知能情報技術研究所 所長 丸野進氏 他
・賀詞交歓会・近畿情報システム産業協議会加入 10団体主催で開催。

(3) 新入社員ビジネスマナー研修

関西電子情報産業協同組合 (KEIS)との共催で、新入社員の「ビジネスマナー研修講座」を開催したが、本年度はJASAからのご参加はなかった。

(4) 年次大会

通常総会開催時、特別講演会と交流懇親会を併せて開催した。

①平成17年5月25日(水)於:大阪産業創造館

講演 大阪府立大学大学院 工学研究科知能情報工学分野 辻 洋教授
テーマ 「情報と知識のマネージメント—人間だけが行えた知識の
伝承は如何に発展し、どうなっていくか」

(5) 会員交流会 (JASAファミリークラブ)

全国システムハウス業厚生年金基金との共催で開催。

①平成17年9月28日(水)於:ライブハウス・ケントス梅田

“Oldies Live! Again!”と題して、オールディズ・ライブ、ビンゴゲーム、バイキング料理での交流会を開催した。

2. 技術・業務委員会

(1) 技術交流フォーラム (ITシステム研究会)

市場開発と合同交流フォーラムを開催した。各社技術担当者が集まり、市場開発フォーラムの営業担当者とそれぞれの立場から意見を出した。

①平成17年10月14日(金)於:太洋工業(株)殿

内容 同社事業概要紹介及び社内見学

(2) 会員月例会 (近JASAフォーラム)

常議員会終了後、9回開催した。

各回担当会社を決め、企業説明・開発製品、取扱商品紹介を行った。

①平成17年 4月27日(水)於:大阪産業創造館

太洋工業(株) 代表取締役 細江美則氏ご担当

②平成17年 6月22日(水)於:大阪産業創造館

(有)クローバーアドヴァンス メディア開発担当 稲泉綾二氏ご担当

③平成17年 7月27日(水)於:三菱電機(株)京都製作所

竹菱電機(株)殿ご担当で三菱電機(株)京都製作所見学

④ 平成17年 9月28日(水)於:大阪産業創造館

デジタル・マジック(株) システム技術本部 次長 堀口浜雄氏ご担当

⑤ 平成17年10月26日(水)於:大阪産業創造館

- ㈱エイビイラボ 代表取締役社長 得津勇氏ご担当
- ⑥ 平成17年11月22日（水）於：大阪産業創造館
㈱シー・シェルコーポレーション 代表取締役 倉本和昭氏ご担当
- ⑦ 平成18年 1月25日（水）於：大阪産業創造館
エルミック・ウェスコム㈱ 営業部 安藤直氏ご担当
- ⑧ 平成18年 2月22日（水）於：大阪産業創造館
竹菱電機㈱ 電子デバイス部長 利安雅之氏ご担当
- ⑨ 平成18年 3月22日（水）於：大阪産業創造館
㈱ハネロン 執行役員事業推進部長 岡野啓輔氏ご担当

（3）技術セミナー

「組込みソフトウェアフォーラムin大阪」を開催。講演は全て満席で、非常に好評であった。

- ① 平成17年10月7日（金）於：大阪科学技術センター
基調講演 名古屋大学大学院 情報科学研究科教授 高田広章氏
一般講演 I P A / S E C 組込み系プロジェクト リーダー 門田浩氏
同研究員 室修司氏、同研究員 佐藤和夫氏
特別講演 オムロン㈱ 公共ソリューション事業部 主査 高木徳生氏

3. 広報・マーケット委員会

（1）市場開発交流フォーラム（ビジネス開発研究部会）

交流フォーラムと懇親会を5回開催。各回担当会社を決め、会社説明、開発製品のご紹介を頂いた。その後、各社がテーマとして取り上げた問題を検討、意見交換を行った。

- ① 平成17年 4月15日（金）於：児島電機㈱殿
② 平成17年 6月17日（金）於：竹菱電機㈱殿
③ 平成17年 8月26日（金）於：㈱コア関西カンパニー殿
④ 平成17年10月14日（金）於：太洋工業㈱殿
⑤ 平成18年 2月10日（金）於：住友電工ハイテックス㈱殿

（2）国内・海外視察研修

支部では「アジアのコンピュータビジネス」の実現に取り組んできた結果、中国（上海・蘇州）視察を行った。

- ① 平成17年11月10日（木）～12日（土）2泊3日
内容 上海にて浦東ソフトウェアパーク見学、上海コア殿訪問
蘇州にて太陽電子通信電線殿工場見学、他
② 国内見学は本年度開催出来なかった。

4. その他

（1）他支部との交流

各支部との交流は本年度出来なかつたため、次年度事業とする。

(2) 会員交流会

交流の1つの場として親睦ゴルフコンペ、J G K杯を2回開催、また会員交流懇親会、忘年会も開催した。

- ①平成17年 7月27日（水）於：京都・貴船 右源太にて懇親会
- ②平成17年 8月10日（水）於：大宝塚カントリークラブ
- ③平成17年12月 7日（水）於：治兵衛・難波店にて忘年会
- ④平成18年 3月15日（水）於：宝塚ゴルフ俱楽部

<九州支部>

1 第20回通常総会の開催

- (1) 日 時 4月22日（金）14時00分～
- (2) 場 所 九州産業技術センター
- (3) 出席者 6名
- (4) 議 案
 - ① 平成16年度決算書について
 - ② 平成17年度事業計画及び收支予算書について
 - ③ 正副会長・支部長会議の報告について
 - ④ 懇親会

2 7月度常議員会の開催

- (1) 日 時 7月21日（木）15時30分～
- (2) 場 所 九州産業技術センター
- (3) 出席者 8名
- (4) 議 案
 - ① 第1回幹部会の報告について
 - ② 九州支部スポーツ交流計画について
 - ③ 海外視察について
 - ④ セミナー開催
 - ・ 演題 「ISITにおけるロボット関連産業振興の取り組み」
 - ・ 講師 九州システム情報研究所 第三研究室長 松本三千人 氏
 - ⑤ 懇親会

3 9月度常議員会の開催

- (1) 日 時 9月22日（木）13時30分～
- (2) 場 所 九州産業技術センター
- (3) 出席者 7名
- (4) 議 案
 - ① 第124回 理事会報告について

- ② 17年度行事予定について
- ③ 厚生年金基金スポーツ交流会の実施結果報告について
- ④ 海外視察研修について

4 10月度常議員会の開催

- (1) 日 時 10月19日(水) 13時30分～
- (2) 場 所 九州産業技術センター
- (3) 出席者 7名
- (4) 議 題
 - ① 平成17年度中間決算報告について
 - ② 海外視察研修について

5 海外視察

- (1) 日 程 11月10日(木)～13(日)
- (2) 場 所 タイ(バンコク)
- (3) 参加者 4名
- (4) 視察企業 Sony Device Techonology Co.Ltd、沖電気タイランド(株)

6 台日協業プロジェクト2005年福岡 産学連携体制研究ラウンドテーブル・ミーティング 参加

- (1) 開催日 11月28日(水)
- (2) 場 所 福岡アクロス
- (3) 主 催 電波新聞社
- (4) 参加者 台湾：大学、企業、政府(10社)
福岡：九州大学、福岡大学、福岡県、業界団体(10社)
日本システムハウス九州支部(松尾支部長)

7 講演会参加

- (1) 開催日 12月7日(水)
- (2) 場 所 福岡LSI開発センター
- (3) 演 題 「エンデベットソフトウェアの新たな展開、その技術と課題」
講 師 NEC 門田 浩氏 他2名
- (4) 主 催 (社)電子情報通信学会
- (5) 参加者 松尾支部長他4名

8 1月度常議員会

- (1) 日 時 1月25日(水) 16時30分～
- (2) 場 所 九州産業技術センター
- (3) 出席者 7名
- (3) 議 題

- ① 理事会報告について
- ② フォーラム及び研修会の開催について
- (2) 新年会
 - ① 日 時 1月25日(水) 17時30分~
 - ② 場 所 ハイアットリージェンシー ホテル
 - ③ 出席者 7名

9 2月度常議員会・交流懇親会の開催

- (1) 常議員会
 - ① 日 時 2月23日(木) 13時30分~
 - ② 場 所 九州産業技術センター
 - ③ 出席者 名
 - ④ 議 案
 - ・ 平成18年度事業計画について
 - ・ 平成18年度予算書について
 - ・ その他

10 組込みソフトウェアフォーラム in 福岡

- (1) 日 時 3月6日(月) 10時30分~17時
- (2) 場 所 福岡システムLSI総合開発センター
福岡市早良区百道浜3-8-33
- (3) 主 催 九州支部
- (3) 後 援 九州経済産業局、(独)情報処理推進機構、(財)九州システム情報技術研究所
(財)福岡県産業・科学技術振興財団
- (4) 協 賛 (財)九州産業技術センター
- (5) 参加者 95名

12 組込みソフトウェア技術者入門研修

- (1) 日 時 3月7日(火)~8日(水) 10時00分~17時
- (2) 場 所 福岡システムLSI総合開発センター
福岡市早良区百道浜3-8-33
- (3) 主 催 九州支部
- (3) 後 援 (財)九州システム情報技術研究所、(財)福岡県産業・科学技術振興財団
- (4) 協 賛 (財)九州産業技術センター
- (5) 参加者 20名